

生きる力



奈良県立ろう学校 校長 出口 千恵美

このたび、山中俊和校長のあとを受け、4月1日から校長に着任しました出口千恵美です。教員生活の多くは、高等学校で理科の教員として生徒と向き合ってきました。初めて特別支援学校に勤務し教育を担いますが、子どもの障害を理解し、本校の校訓である「自立 礼儀 希望」に掲げる、主体的に取り組む意欲と、思いやりや感謝の気持ちをもって、最後まであきらめない態度を身に着ける取組を続けていきます。細かなことは教職員や皆様方から学んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



本年度より高等部（入学生のみ）が新学習指導要領を実施することになりました。新学習指導要領は、「生きる力」を育むために、主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視して授業を改善します。「わかった!」「おもしろい!」と思える授業です。また、カリキュラム・マネジメントを確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。教員が連携し、複数の教科等の連携を図りながら作っていく授業です。また、地域と連携し、よりよい学校教育を目指していきます。そのことにより、子どもからよく聞かれる「なぜ勉強する意味があるのだろうか?」という学びではなく、社会に出てからも学んだことを生かせる力や思考力、判断力、表現力や知識及び技能を育てていくことを目標としています。本校も、子ども達の「生きる力」を育むための社会に開かれた教育課程を実現していきます。子ども達や保護者の皆様、地域の方々も本校や本校の取り組みに興味関心を寄せていただければと思っています。

さて、去年は東京2020が、今年2月からは北京オリンピック、パラリンピックが開催されました。パラリンピックは、イギリスのロンドン郊外のストック・マンデビル病院国立脊髄損傷センターの所長であるルードウィヒ・グットマンが、脊髄を損傷した兵士の治療にスポーツを取り入れ、16名の車いす使用者によるアーチェリー大会を行ったことが始まりです。グットマンは、「失ったものは数えるな、残されたものを最大限に生かせ」という理念を導入し、若者たちに訴えかけ、生きる勇気と感動を与えたのです。パラリンピックに夢中になっていた人、グットマンに興味をもった人は、このことを掘り下げて調べてください。いつ学ぶか、年齢などは関係ありません。何をどのように学びたいか、自分が主体になりましょう。

外来補聴相談の予定

新型コロナウイルス感染症の状況により、変更の可能性があります。そのときは、改めてお知らせいたします。

7月21日(木)～7月28日(月) 夏の外来補聴相談・教育相談

3月22日(金)～29日(水) 春の外来補聴相談・教育相談

☆ 聴力測定やきこえの様子を確認したり、補聴器・ロジャーなどの補聴援助システム機器のチェックをしたりします。

☆ 担任の先生もぜひ一緒にお越しください。

耳鼻科医の診療について

※最新の情報など、詳しくはHP等でご確認ください。

- ◎山本耳鼻咽喉科医院 校医 山本裕幸先生
午前：月～金曜日 山本暁秀先生 土曜日 森本千裕 先生
午後：月～水曜日 山本暁秀先生 月・水・金曜日 院長先生（月・水は2名での診察）
- ◎奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター 耳鼻咽喉科
月曜日 8：30～11：30 由良和代 先生
金曜日 8：30～11：30 覚道真理子 先生
- ◎奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 耳鼻いんこう科
第1水曜日・金曜日 PM 由良和代 先生
- ◎奈良県立医科大学附属病院 耳鼻咽喉科 水曜日 森本千裕 先生



補聴器業者 来校日のお知らせ

- ◎リオン補聴器センター 河野 功さん(新大宮店) 毎週 火曜日
新大宮店と八木店があります。
- ◎キンキ補聴器センター奈良 浜田 修さん 毎週月曜日（月曜日が祝日の時は金曜日）



補聴相談をする メンバー紹介



【聴能部】

- 早期教育部：稲田
- 幼稚部：高井
- 小学部：井上・山田
- 中学部：山中
- 高等部：中田・岡野

より良い音環境で学校生活を送れるよう、精一杯のサポートをするとともに、子どもたちのきこえを育てていきたいと思っております。よろしくお願ひします。



音・きこえについて

- 今年度から「音きこえ」の用紙のサイズはA4になります。
- 「奈良県立ろう学校」のホームページからも「音・きこえ」をご覧ください。
- 「ホーム」より「学校紹介>聴能部」をクリックください。

